江　津　民　泊

＃Gotsu Minpaku

~新しいものと懐かしいものの調和・ワンランク上の上質な家~

私たちは江津市が抱えている問題について考えてみた。その中でも「空き家問題」に着目し、「空き家」を解体するのではなく他の建物に再利用できないかと考えた。また、島根県観光動態調査結果から江津市には「宿泊施設」が少ないことも分かった。

私たち夫婦は広島県に住んでいた。実家である江津市に移り住み、民泊を経営しようと考えた。新築の家を建てようとも考えていたが、友人からある空き家を紹介された。そこは駅からも近く、商業地域で建物は立派な木材で造られており、風格のある家構えであった。この家を買うことにし、改築・増築をして宿泊スペースと私たちの生活スペースを造ることにした。

民泊施設には、和室と洋室を設け都会の人や地方の人にも楽しんでもらい、いずれはカフェを建設し若者や女性にも訪れてもらえるような要素を含みたいと考えた。

「＃Gotsu Minpaku」（ハッシュタグごうつみんぱく）というネーミングにした由来は、現代はSNSが活発になっています。記号の「＃（ハッシュマーク）」はハッシュタグと呼ばれており、SNSの投稿でタグ化され、この江津民泊がどんどん発信されてほしいという思いからこのネーミングにしました。

建物周辺の様子

道路の様子
細い道と階段が入り組んでいる

門の前の様子
この細い道が玄関へのアプローチ道路

門の前
玄関には門があり風格のある佇まい

玄関前
風情ある玄関前の庭

南側の庭から建物を見た様子

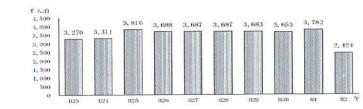
庭の様子
多くの樹木が手入れされている

宿泊施設の必要性（データ）

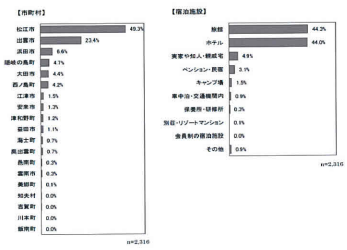
観光入込客延べ数

区　分	総　数	内　訳	
		県内客	県外客
観光入込客延べ数（千人地点）	21,318	6,912	14,406
構成比	100.0%	32.42%	67.58%
対前年増減	−35.4%	+4.3%	−45.3%

観光入込客延べ数の推移



宿泊する市町村及び宿泊施設



主要観光地観光入込客延べ数

（市町村）

市町村名	入込客延べ数（人地点）	対前年増減
出雲市	8,788,358	−29.6%
松江市	5,375,566	−48.6%
雲南市	985,795	−32.3%
津和野町	945,066	−21.9%
安来市	944,071	−36.6%
浜田市	938,866	−37.4%
大田市	812,130	−22.2%
奥出雲町	702,068	−19.6%
益田市	596,857	−31.7%
飯南町	336,810	−16.5%

（観光地・観光施設）

観光地・観光施設名	入込客延べ数（人地点）	対前年増減
出雲大社（出雲市）	4,955,000	−21.8%
美保関（松江市）	788,734	−7.2%
日御碕（出雲市）	766,850	−29.9%
三瓶山（大田市）	516,400	+8.1%
太鼓谷稲成神社（津和野町）	500,352	−17.2%
道の駅湯の川（出雲市）	389,480	−16.8%
玉湯温泉（松江市）	374,459	−39.1%
石見海浜公園（浜田市）	373,710	−33.5%
島根ワイナリー（出雲市）	337,470	−53.7%
道の駅キララ多伎（出雲市）	335,681	−23.8%

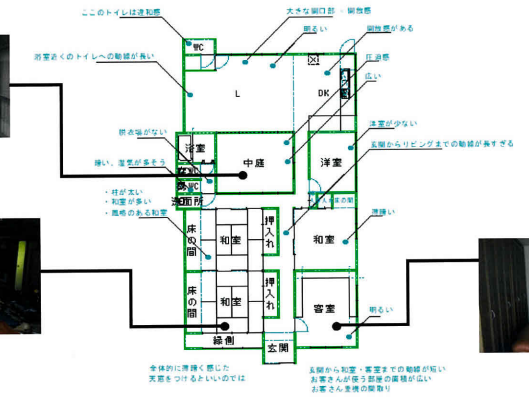
「島根県振興課　島根県観光動態調査結果」引用

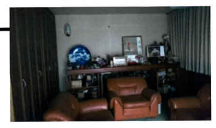
令和２年度の島根県観光入込客延べ人数は約 2100 万人で、前年と比べると約 1100 万人が減少しています。それ以前は約 320 万人前後で、今後コロナウイルス感染症の影響が少なくなれば元に戻ると予想されます。令和２年度は石見地区の大田市、浜田市で約 170 万人の観光客数があり、これにともない宿泊施設も必要とされます。

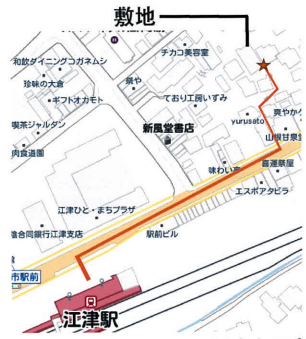
宿泊施設は、県全体を 100%とすると松江市・出雲市で約 70%の施設があるものの、江津市は 1.5%、浜田市で 6.6%と石見地区の宿泊施設数が圧倒的に少なく、夜の観光客の受け入れができていない状態です。その分、観光経済の恩恵を受けていないと考えます。

そこでこの実態を踏まえ、観光客が日帰りや他の地域に宿泊せず、地域のスケールに見合った宿泊施設を考えることにしました。宿泊施設には空き家を利用して、お客様がくつろげる別荘感覚的な民泊をつくりたいと思いました。また、この施設で連泊をして少しでも長く滞在し、ここを拠点に江津市周辺の町へ何度も観光してほしいです。

現況の平面図

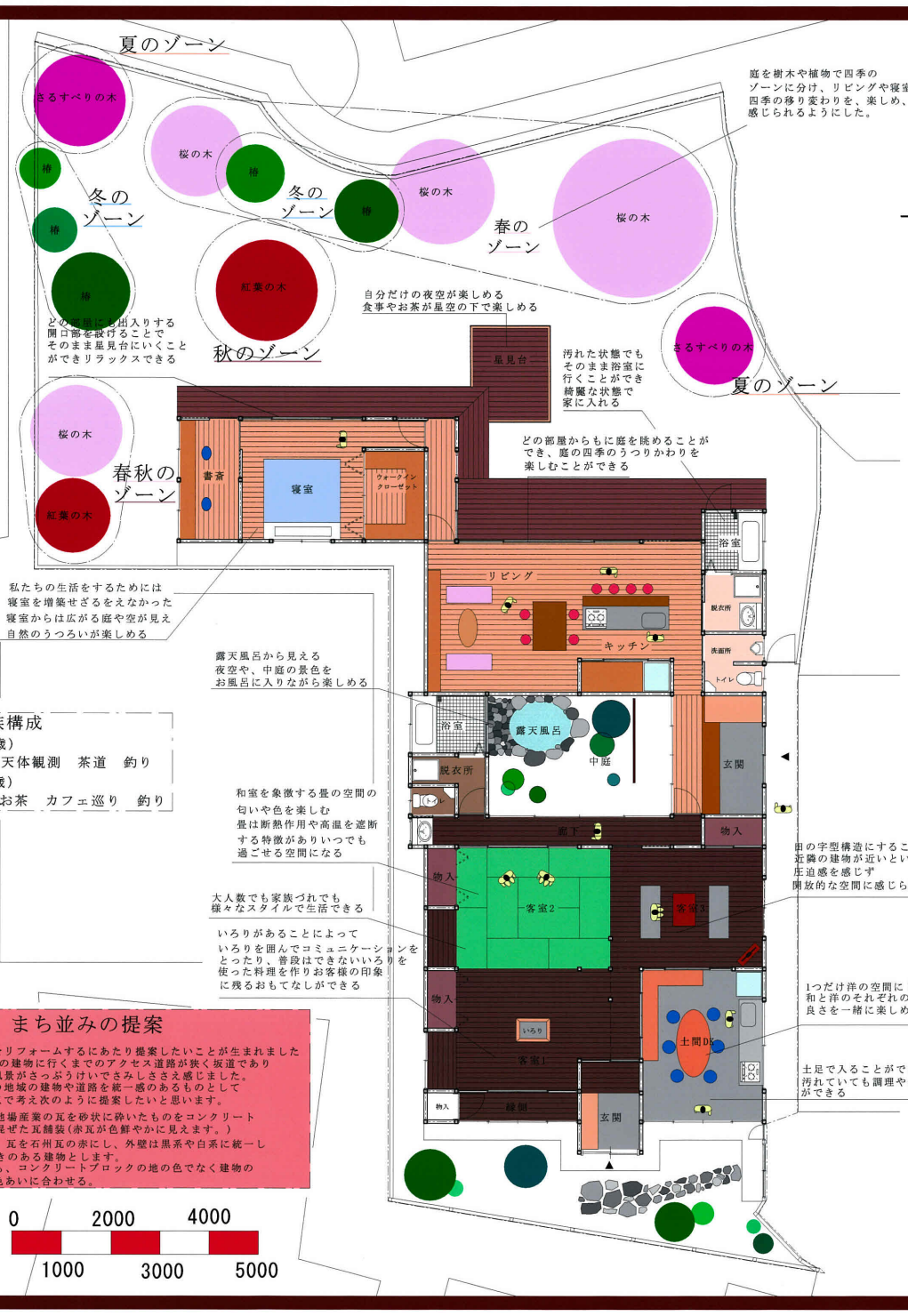






アクセス方法

島根県立江津工業高等学校3年　勝田　優亜・嶋田　琳



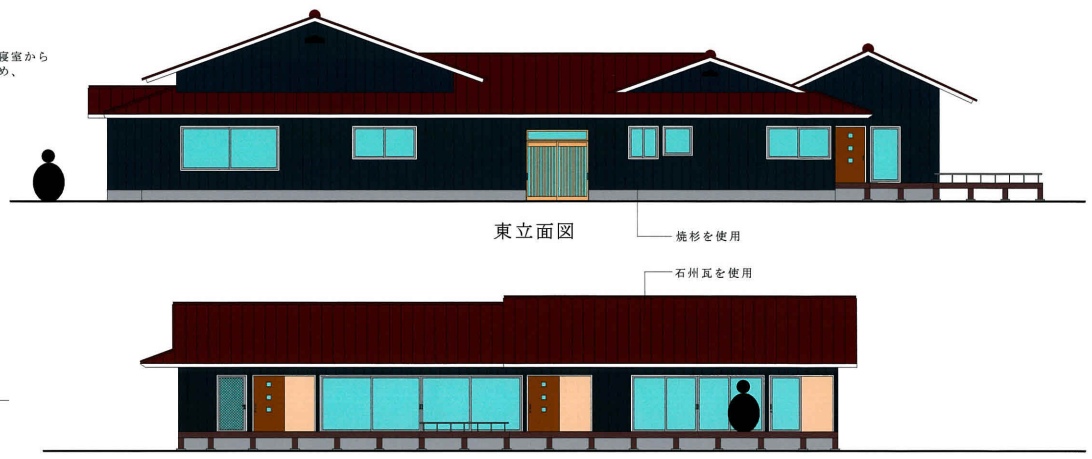
家族構成

夫（35歳）
趣味：天体観測　茶道　釣り
妻（31歳）
趣味：お茶　カフェ巡り　釣り

まち並みの提案

この空き家をリフォームするにあたり提案したいことが生まれました
9号線からこの建物に行くまでのアクセス道路が狭く坂道であり
まち並みの風景がさっぷうけいでさみしささえ感じました。
そこで、この地域の建物や道路を統一感のあるものとして
点と面の視点で考え次のように提案したいと思います。

1　道路は地場産業の瓦を砂状に砕いたものをコンクリートに練り混ぜた瓦舗装（赤瓦が色鮮やかに見えます。）
2　建物は、瓦を石州瓦の赤にし、外壁は黒系や白系に統一しおもつきのある建物とします。
3　塀の色も、コンクリートブロックの地の色でなく建物の外壁の色あいに合わせる。

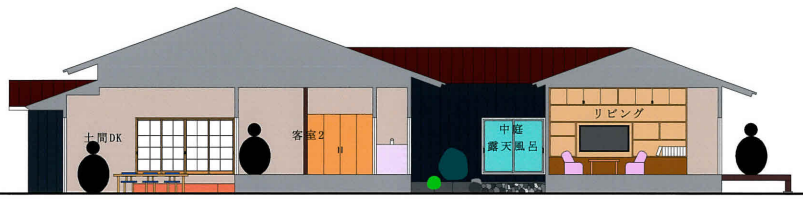


東立面図

焼杉を使用

石州瓦を使用

北立面図



断面図

島根県立江津工業高校3年　勝田　優亜・嶋田　琳